



「こんにちは 市長です」

12月15日号

サッカーW杯カタール大会、ドイツに勝った。これで決勝トーナメント、と思った直後コスタリカに0-1で負け。ところがスペインに勝って決勝トーナメント進出。まあ、驚いた。カタールに駆けつけた応援団も日本の応援団も、とりわけ堂安選手や田中選手の地元では「わがまちの英雄」で大騒ぎ。ドイツ戦で決勝ゴールを決めた浅野選手の同級生だったら「俺は彼と仲がよかったんだ」と自慢しているはず。テレビには近所のおばちゃんも恩師も出てくる。恩師は「あの子は才能があった」と選手を褒めながら内心は自分がいて彼がいたと自慢することになる。とにかく日本全国、上機嫌にしてくれた。願わくばブラジルを破って決勝に進んで、そして再びスペインに勝って優勝。すごいことになる。

この暮れ、28日（水）にプロで活躍している3人のサッカー選手が市陸上競技場に来てくれる。ガンバ大阪の鈴木武蔵選手、北海道コンサドーレ札幌の田中宏武選手、2人とも太田市出身。そして湘南ベルマーレの若月大和選手、桐生第一高校出身の3選手だ。鈴木選手はよく市役所に寄ってくる。この間、パナラグビー練習場を市で買うことになるかと話をした。練習場を使って「サッカーをする子どもたちのために役に立ちたい」と話がはずんだ。

彼は今でこそ一流のストライカーだがコンプレックスを抱いて生きてきた。自分の肌はなぜ黒いのか？自分は日本人なのか？『ムサシと武蔵』（徳間書店）という自著に半生が書かれている。「Jリーガー鈴木武蔵サッカー教室」は競技力以上の何かを教えてくれるはずである。今年最後の広報となりました。皆さん、どうぞよいお年を。（12/2 記）